

# 2024年世界電気通信標準化総会 (WTSA-24)について

## 世界電気通信標準化総会 (WTSA: World Telecommunication Standardization Assembly)

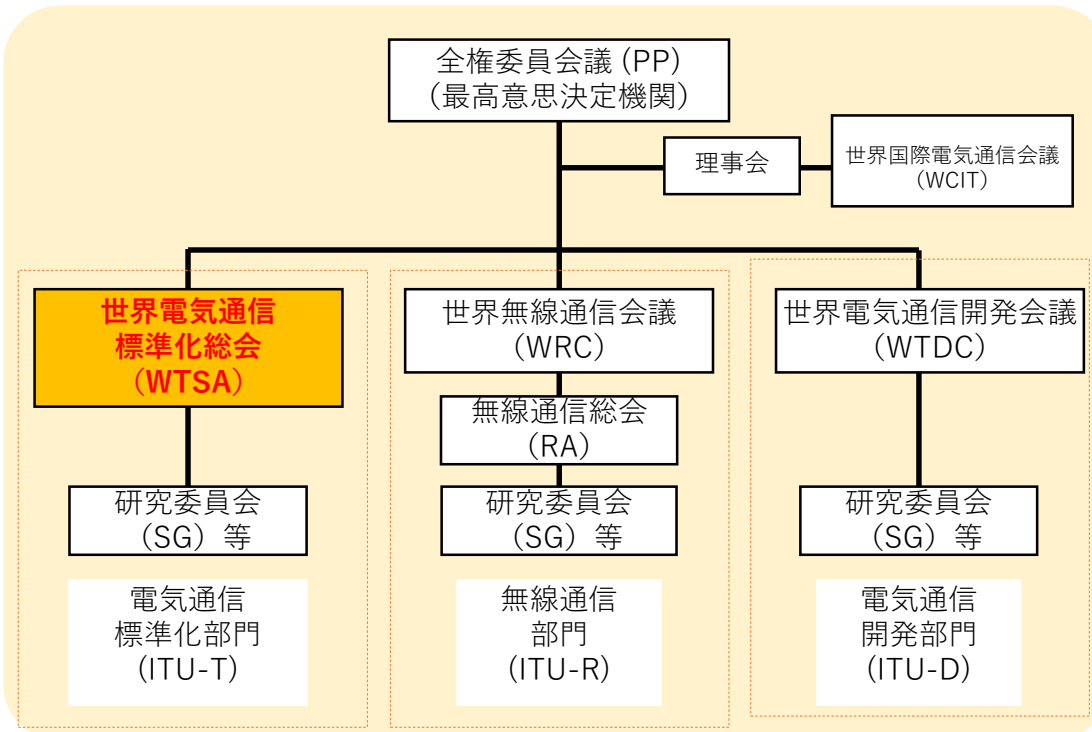
- 国際電気通信連合電気通信標準化部門 (ITU-T) における標準化活動の方向性を決める総会
- 次会期の研究課題の承認、次会期の研究委員会 (SG) 議長・副議長の任命、勧告案の承認等を審議
- 4年に1度開催 (前回総会 (WTSA-20) はコロナ禍のため2年延期され、2022年開催)
- 次回開催期間: 2024年10月15日 (火) ~ 10月24日 (木)
- 次回開催地: インド共和国 (ニューデリー) 会場: Pragati Maidan
- 開催方法: 現地開催 (オンラインは傍聴のみ可能)

## 同時開催される主なイベント

- 10月14日  
5th Global Standards Symposium (GSS-24)
- 10月16日  
AI for Good Impact India
- 10月17日  
Network of Women in ITU-T
- 10月21日-23日  
Kaleidoscope

## 今後の主な予定

- 1月26日: WTSA、GSSレジストレーション開始
- 7月25日: Inter Regional Meeting
- 9月16日: WTSA寄書締切り



## TSAG(電気通信標準化諮問委員会)の構成

- TSAGは、各SGの活動検証や手続き見直し等の役割を担っている。今会期は2つのWP(Working Party)が設置されており、Plenary及び各WP配下には下表のRG(Rapporteur Group)が設置されている。
- 主なRGとしては、ITU-Tの作業方法やITU-T Aシリーズ勧告に関する議論を行うRG-WM(Working Methods)、作業計画やSG体制の調整を行うRG-WPR(Work Programme and Restructuring, SG work, SG Coordination)、産業界からのITU-Tへの参加促進検討のためのRG-IEM(Industry Engagement, Metrics)がある。
- 今会期中に、RGはそれぞれ複数回オンライン中間会合を実施して検討・議論を深め、その結果をTSAG会合にて報告し、WPやTSAG Plenaryにて承認を行う。

## TSAGのマネジメント体制

WP	名称	議長／ラポータ
PLEN		Mr. Abdurahman M. AL HASSAN(NCA, サウジアラビア)
	Strategic & Operational Plan (RG-SOP)	Mr. Víctor Manuel Martínez Vanegas(IFETEL, メキシコ)
WP1	“Working methods and related WTSAs preparations”	Mr. Mihail Ion (ANCOM, ルーマニア)
	Working Methods (RG-WM)	Mr. Olivier Dubuisson(Orange, フランス)
	WTSAs Preparations (RG-WTSA)	Ms. Fang LI(CAICT, 中国)
WP2	“Industry Engagement, Work Programme, Restructuring”	Ms. Gaele Martin-Cocher (InterDigital Canada Ltd.,カナダ)
	Work Programme and Restructuring, SG work, SG Coordination (RG-WPR)	永沼 美保(NEC, 日本)
	Industry Engagement, Metrics (RG-IEM)	Mr. Glenn Parsons(Ericsson, カナダ)
	Sustainable Digital Transformation (RG-DT)	Mr. Ahmed Sharafat(イラン)

## 次会期におけるSG再編の提案

### 【提案の経緯と内容】

- SGの再編(Restructuring)は、RG-WPRでの検討状況を元に議論が行われている。2023年5月に行われた第2回TSAG会合以降、継続的に議論が行われており、7月にはアメリカ、11月にはイギリスから提案が行われていたが結論は出なかった。
- 日本は、第3回TSAG会合(2024年1月22日-26日開催)において、次研究会期(2025-2028年)のITU-Tにおける研究委員会(Study Group)について、SG9とSG16の統合に関する日本寄書を提出した。

### 【日本寄書の提案事項】

- 次研究会期に向けて、SG9とSG16を統合し、新SG「マルチメディア、放送及び関連デジタル技術」を編成する。
- マルチメディアのうち、オーディオビジュアルの広帯域ケーブルによる伝送を研究の対象としているSG9と、マルチメディアとその関連技術を研究の対象としているSG16を統合することで、多くの映像・音声伝送の専門家がSGに同時に参加することが可能となり、先進的なマルチメディア技術・サービスやアプリケーション等に関する研究の更なる充実・加速の実現が期待できる。
- 統合に際し、決議2(SGの責任と担務)の改訂を行う。
- 再編が行われる場合、SG9及びSG16へ再編に向けた準備を整える旨のリエゾン文書を発出する。

### 【TSAG会合での各国の反応】

アメリカ・カナダ・ロシア・メキシコからは強い賛成意見、中国からは再編の必要性を理解する旨の意見が述べられ、日本寄書の案をベースにSG9とSG16の統合に向けた検討を進めることとなった。

### 【今後の流れ】

SG9とSG16の間でジョイントリーダーシップミーティングを2回開催(①2024年2月～3月、②2024年4月～5月)され、その結果は2024年6月19日のRG-WPR会合で他SGの参加者を含め報告されたのち、次回TSAG会合(2024年7月)にも報告される。その後TSAGは、WTSA-24へSG再編案の提言を行うことになる。

# 電気通信標準化部門における研究体制(2022-2024)



全権委員会議 PP  
最高意思決定機関

(4年毎に開催)

電気通信標準化部門(ITU-T)

世界電気通信標準化総会 WTSA  
研究課題設定、勧告の承認

(4年毎に開催)

研究委員会:SG

SG2

サービス提供の運用側面及び電気通信管理  
議長 Mr. RUSHTON (英)  
サービス規定・定義、ナンバーリング、アドレッシング、ルーティング関連

SG13

将来網及び新興ネットワーク技術  
議長 谷川 和法 (NICT)  
移動及びNGNを含む将来網の要求条件、アーキテクチャ、評価、融合関連

SG3

料金会計原則並びに国際電気通信・ICTの経済及び政策課題  
議長 Mr. SAID (エジプト) 副議長 本堂 恵利子(KDDI)  
計算料金制度改革、精算原則関連

SG15

伝送、アクセス及びホーム網のためのネットワーク技術と  
基盤設備  
議長 Mr. PARSONS(カナダ)  
伝送網及びアクセス網基盤、システム、装置、光ファイバー及び  
ケーブル関連

SG5

電磁界、環境、気候活動、持続可能なデジタル化及び循環経済  
議長 Mr. WÜRGES (仏) 副議長 高谷 和宏(NTT)  
網及び装置保護、電磁環境の影響に対する防護、ICTと気候変動関連

SG16

マルチメディア及び関連デジタル技術  
議長 Mr. LUO(中) 副議長 山本 秀樹(OKI)  
NGN等を含む既存・将来網のサービスのためのユビキタスアプリ  
ケーション及びマルチメディア関連

SG9

ブロードバンドケーブル及びテレビジョン  
議長 宮地 悟史(KDDI)  
統合型広帯域ケーブルネットワーク及び映像・音声伝送

SG17

セキュリティ  
議長 Mr. YOUM (韓) 副議長 三宅 優(KDDI)  
サイバーセキュリティ、スパム対策及びID管理等

SG11

信号要求、プロトコル、試験仕様及び偽造ICTデバイス対策  
議長 Mr. MITTAR (印)  
IP網、NGN等の信号及びプロトコル並びにNGN等の試験仕様関連

SG20

IoTとスマートシティ・コミュニティ  
議長 Mr. KIM (韓) 副議長 山田 徹(NEC)  
IoTとスマートシティ、スマートコミュニティを含むそのアプリケーション

SG12

性能、サービス品質(QoS)及びユーザー体感品質(QoE)  
議長 Ms. VILLA TRAPALA (メキシコ) 副議長 山岸 和久(NTT)  
全ての端末、ネットワーク及びサービスのQoS及びQoE関連

TSAG

電気通信標準化諮問委員会  
議長 Mr. AL HASSAN (サウジ) 副議長 永沼 美保(NEC)  
ITU-Tの活動の作業方法、優先事項、計画

※副議長は日本人のみ記載

## 会合の目的

WTSA-24において議論が想定される議題について、アジア・太平洋地域の意見調整等を行い、APTによる共同提案を策定することを目的。WTSA-24までに5回開催する予定。

APT: Asia Pacific Telecommunity (アジア・太平洋電気通信共同体)

## 第1回・2回準備会合結果

- 第1回 2023年4月21日(金)(タイ・バンコク): 今後開催される準備会合の構成や役職者の選出が行われ、以下のとおり役職者が決定。

	議長	副議長
全体会合	Hyoung Jun Kim氏 (韓国)	岩田 秀行氏 (日本・TTC) Sushil Kumar氏 (インド) Xu Heyuan氏 (中国)
WG1 (Working Methods)	山本 浩司氏 (日本・NTT)	Minah Lee氏 (韓国) Wu Tong氏 (中国) Abhay Shanker Verma氏(インド) Norzailah Mohd Yusoff氏(マレーシア)
WG2 (Work Organization)	Kangchan Lee氏 (韓国)	永沼 美保氏 (日本・NEC) Arun Agarwal氏 (インド) Qu Zhicheng氏 (中国) Do Xuan Binh氏 (ベトナム)
WG3 (Regulatory/ Policy and Standardization Related Issues)	Li Cheng氏 (中国)	本堂 恵利子氏 (日本・KDDI) Kihun Kim氏 (韓国) Avinash Agarwal氏 (インド) Mr. Dao Ngoc Tuyen (ベトナム)

- 第2回 2024年2月5日(月)～6日(火)(オンライン)  
WTSA-24に向けて、APT共通提案(APT Common Proposal)の策定に向けた決議の改訂提案等の54件の提出寄書があり十分な議論の時間がとれないことから、提案者による寄書の説明のみが行われ、詳細な議論は次回以降に行われることとなった。

## 今後の会合予定

- WTSA-24に向け、以下の3回のAPT準備会合の開催が予定されている。
- 第3回 4月30日(火)～5月2日(木)(カンボジア・シェムリアップ) / 第4回 6月25日(火)～28日(金)(豪州) / 第5回 8月19日(月)～23日(金)(タイ)

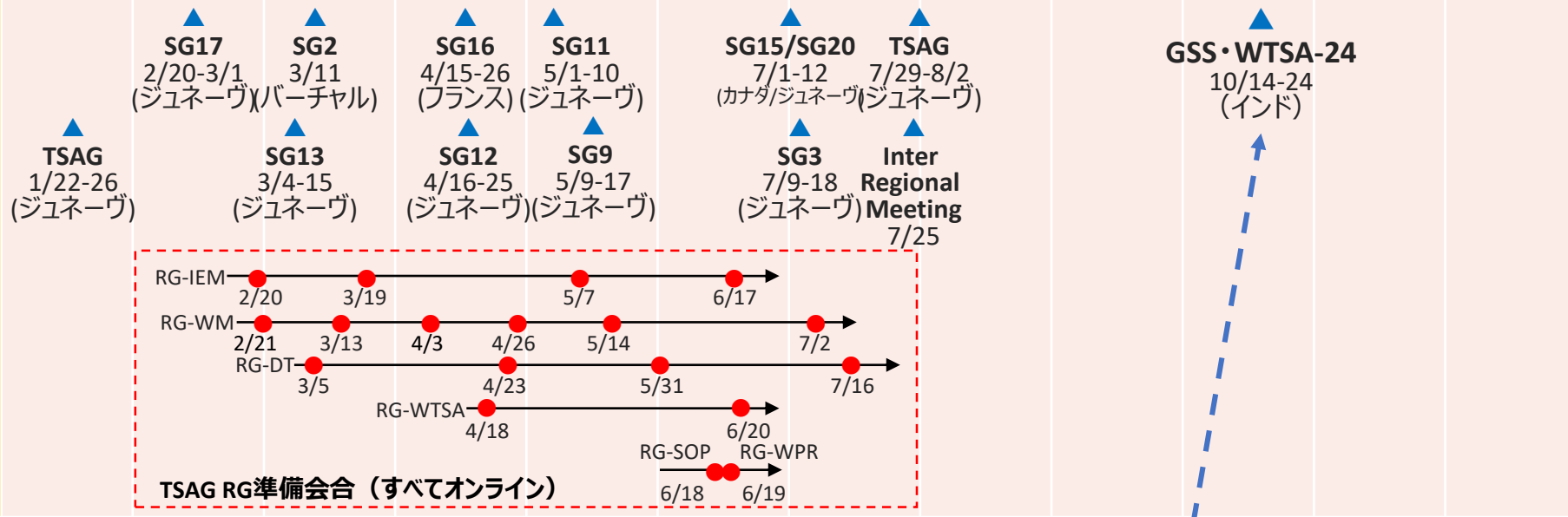
# 今後のスケジュール



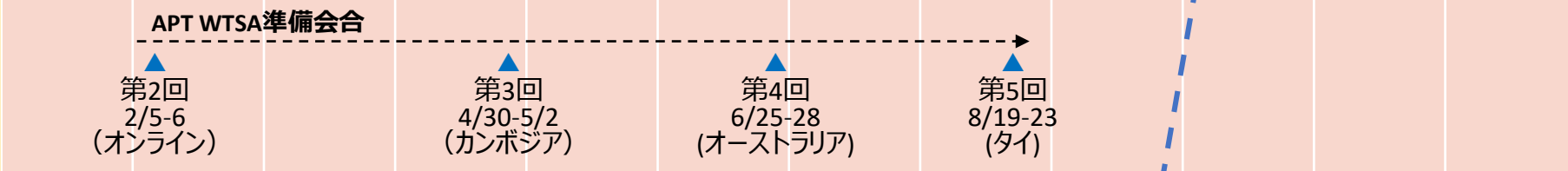
2024年

1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

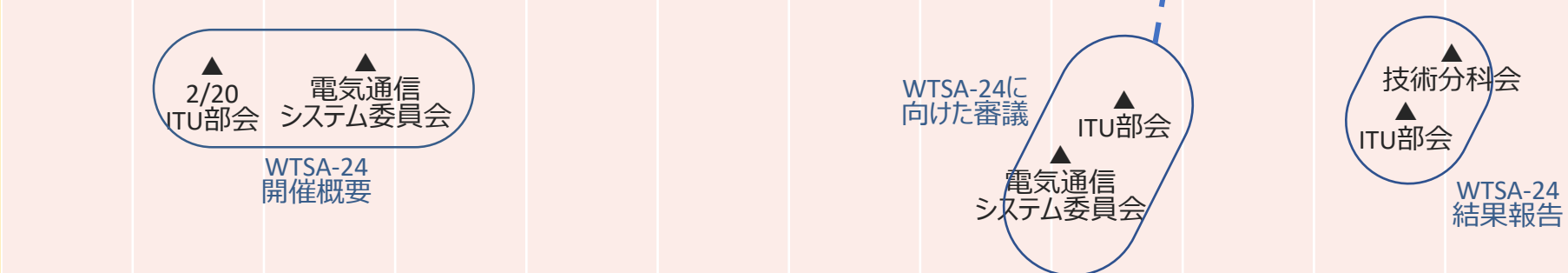
ITU会合



APT会合



審議会等



# 今会期ITU-T SG等における日本からの役職者等一覧

SG	日本からのSG議長／副議長		日本からのWP議長/副議長		日本からのレポート(R)／アソシエイトレポート(AR)		
SG 2 サービス提供の運用側面及び電気通信番号管理	-		-		-		
SG 3 料金会計原則並びに国際電気通信・ICTの経済及び政策課題	副議長	本堂恵利子(KDDI)	WP1 議長 本堂恵利子(KDDI)		Q.12 R 大槻 芽美子(ドコモ)		
SG 5 電磁界、環境、気候活動、持続可能なデジタル化及び循環経済	副議長	高谷和宏(NTT)	-		Q.1 AR 岩下秀徳(NTT) Q.1 AR 奥川雄一郎(NTT)	Q.2 R 小林栄一(NTT) Q.2 AR 小林隆一(NTT-AT) Q.4 AR 高谷和宏(NTT)	
SG 9 ブロードバンドケーブル及びテレビジョン	議長	宮地悟史(KDDI)	WP1 副議長 柴田達雄(日本ケーブル)		Q.1 R 河村圭(KDDI) Q.4 R 柴田達雄(日本ケーブル)	Q.10 AR 宮地悟史(KDDI)	
SG 11 信号要求、プロトコル、試験仕様及び偽造ICTデバイス対策	-		WP3 議長 釘吉薫(NICT)		Q.16 AR 釘吉薫(NICT)		
SG 12 性能、サービス品質及びユーザ体感品質	副議長	山岸和久(NTT)	WP3 議長 山岸和久(NTT)		Q.13 R 山岸和久(NTT)		
SG 13 将来網及び新興ネットワーク技術	議長	谷川和法(NICT)	-		Q.22 R Ved P. KAFLE(NICT)		
SG 15 伝送、アクセス及びホーム網のためのネットワーク技術と基盤設備	-		-		Q.2 AR 可児淳一(NTT) Q.5 R 中島和秀(NTT)	Q.7 R 鬼頭千尋(NTT)	
SG 16 マルチメディア及び関連デジタル技術	副議長	山本秀樹(OKI)	WP2 共同議長 山本秀樹(OKI) WP3 共同議長 今中秀郎(NICT)		Q.8 R 今中秀郎(NICT) Q.8 AR 長尾慈郎(NTT) Q.26 R 川森雅仁(慶應大)	Q.27 R 山本秀樹(OKI) Q.27 AR 清水直樹(三菱電機) Q.28 R 川森雅仁(慶應大)	
SG 17 セキュリティ	副議長	三宅優(KDDI)	WP2 議長 三宅優(KDDI) WP3 議長 中尾康二(NICT)		Q.3 R 永沼美保(NEC) Q.6 AR 高橋健志(NICT) Q.10 AR 武智洋(NEC)	Q.13 AR 磯原隆将(KDDI) Q.14 共同R 門林雄基(NICT) Q.15 AR 釘吉薫(NICT)	
SG 20 IoTとスマートシティ・コミュニティ	副議長	山田徹(NEC)	-		-		
TSAG	副議長	永沼美保 (NEC)	-		RG-WPR R 永沼美保(NEC)		
合計	議長	2	議長	7	レポート(R)		15
	副議長	7	副議長	1	アソシエイトレポート(AR)		13



## 電気通信標準化局長との連携

- 令和4年9月の全権委員会議の選挙で日本の尾上誠蔵(おのせいそう)氏が電気通信標準化局長に当選し、令和5年1月から就任(任期は4年間で2期まで再選可能)
- 尾上局長の選挙公約である、先進国と発展途上国との間に存在する標準化に関するギャップの解消を目標としたBSG(Bridging the Standardization Gap)プログラムを支援し、標準化活動への参加に加えITU-T標準の活用を促進。



### (尾上局長の略歴)

生年月日: 1957年5月12日 (66歳)  
学歴: 京都大学大学院修士課程  
職歴: NTTドコモ常務執行役員、  
ドコモ・テクノロジー代表取締役社長  
日本電信電話(NTT)CSSO※

※Chief Standardization Strategy Officer  
(最高標準化戦略責任者)

## ITU-TにおけるAIに関する取り組み

- ITU全権委員会議(PP: Plenipotentiary Conference)におけるAI決議(決議214)に基づき、ITUではAIそのものの標準化は行わず、電気通信/ICTの効率化のための既存のAIに関する作業等をしている。
- 他の約40の国連機関(WHO, FAO等)とも協力し、AIの開発者と利用者が学習・議論・連携してSDGsを前進させるための実用的なAIソリューションを目指した情報共有や意見交換の場として「AI for Good」の活動をしており、ITU-Tが事務局を担っている。さらにシンポジウムとして「AI for Good Global Summit」を2017年から開催しており、次回開催は2024年5月を予定している。
- そのほか、AI関連のフォーカスグループがあり、AIによって革新的に農業生産をサポートすることを目的とした「FG-AI4A」と、自然災害のデータ収集と対応の支援、時空間軸でのモデリングの改善や効果的なコミュニケーション方法の提供等の分野でAIの活用を目的とした「FG-AI4NDM」の活動をしている。
  - FG-AI4A : Focus Group on Artificial Intelligence (AI) and Internet of Things (IoT) for Digital Agriculture
  - FG-AI4NDM : Focus Group on AI for Natural Disaster Management